



Title	阪大近代文学研究 第24号 表紙
Author(s)	
Citation	阪大近代文学研究. 2026, 24
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/104631
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

阪大近代文学研究

第24号（2026年3月）

芥川龍之介「京都日記」論——〈らしさ〉の翻弄——

森本 悠陽（1）

谷崎潤一郎『細雪』論——〈家〉観の交錯——

武久 萌木（19）

「未摘花」をめぐる

——谷崎潤一郎『少将滋幹の母』と『小学国語読本』巻十一——

岡崎 陽香（33）

瀬戸内晴美（寂聴）「塘沽貨物廠」論

——「わたしたち」による、恋愛と被害の物語の脱臼——

谷水 香苗（51）

性・愛の抑圧と挫折——安部公房『密会』論

宇草 和弥（70）

大江健三郎『さようなら、私の本よ』における「現代史」

荻野 聡士（88）

《資料紹介》

矢田津世子執筆ノート（一九二九年～一九三三年）

森島 万似子（107）